

奥会津 だより

2004年初夏
第24号

シロツメグサ と遊ば

やわらかな緑の野に
クローバーの白い花
指輪に腕輪に首飾り
甘く優しい香りをまとう
今日はお姫さま

ふじときり どっちがきれいとい風に聞く

お早 達せくん(三島中)



奥会津つれづれ

ここにいと朝夕の食卓には山菜が並ぶ。今の時期は、「コシアブラ」などが採れる。どれも土の匂いがして野菜とは違う歯ざわりだ。

私のまわりでは、今も朝早くに山に出かけ恵みを持ち帰ってくる。何か欲しいと思えば、家にながらにして手に入れることのできる時代に、どうしてそんな手間をかけて食べ物を採るのか。山に行っても収穫もなく戻ってくるなんて、と私は思っていた。

だけど、山に行く人は楽しそう。自分が知っている山菜のとおきのおきのポイントを教え合いながら、春の恵みを楽しんでいるのだ。ただし彼らには何やら約束事があるようだ。

例えば山菜が十本生えていたとする。見つければ全て頂くと思っただろうが、彼らは、その内少しは来年のために、又他の生き物のために残して帰ってくるという。熊が食へに来るかもしれない。そんな理由で残しておくなんて、今まで一度も考えたことはなかった。その姿は、山がこれからも恵みの土地であるように、そして自然が人のものだけではないということを改めて教えてくれるようだ。

最近では多くの生物が命の危険にさらされている。一方ではどの生物も大切な存在だということを知り、多くの人に知ってもらおうという動きも広がっている。その意識が広がっていくためにも、まずはこの地に住む私たちが、自発的に守ることは多いと思う。

早戸温泉郷

つるの湯

■大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平888
 ■TEL/FAX 0241-52-3324
 ■営業時間 9:00～21:00(年中無休)
 ◎露天風呂・大浴場
 大人：500円／小人：300円
 (1日の場合は大人1,000円・小人600円)
 ◎露天風呂・大浴場
 1～2泊 3,840円(冬季：4,350円)
 3泊以上 3,300円(冬季：3,825円)



休憩室

1階と2階に設けられた休憩室。川を眺めながらお弁当を開く人も多い。床は、地元産の会津三島桐が敷き詰められていて、夏は涼しく冬は暖かい。イオン効果も優れている。



しもた屋風の玄関



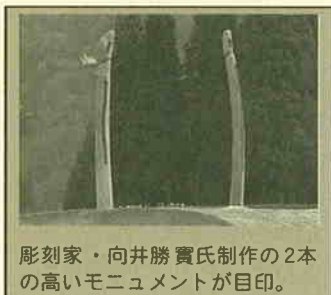
湯治棟

もともと湯治場だったつるの湯は、滞在してゆっくと心身を癒す泊り客が多かった。そうした方々のための湯治棟は、全8室。自炊も、食事の取り寄せも可能。



露天風呂と大浴場

大浴場で体を温めたら、隣の露天風呂に移動して川風を受けながら足湯をとる人も多い。豊かな水に映る四季の移ろいが楽しめる。



彫刻家・向井勝 賢氏制作の2本の高いモニュメントが目印。

■お車で～磐越自動車道・会津坂下IC→R252…30分
 ■電車で～JR只見線・早戸駅下車…徒歩10分

お客様の声

郡山からのお客様
 美坂高原に登って、こ
 で疲れを取ろうと思って来
 ました。
 やわらかい湯ですねえ。

地区の人たちが
 中心になって
 企業組合を作りました。
 毎日交代で
 勤務しています。
 (理事長 目黒卓男さん)

かつての湯治宿を偲ばせる木造の建物は、館内は古色を施された木材がふんだんに使われていて、心も癒される。床などの塗装も、アレルギー体質の人を気遣った特殊塗装。

目前に只見川溪谷が広がり、残雪と山桜と木々の若緑が、日々彩りを変えて鮮やかさを増している。ケガを負った鶴が傷を癒したという古い伝説を持つ「つるの湯」は、全国屈指の薬湯として親しまれてきたが、地元の方々の自主的な運営で、この4月に新しく生まれ変わった。

泉質・塩化物泉
 灰褐色に濁ったかけ流しの温泉で、とてもまろやかな泉質が肌に心地よい。やわやわと全身を包み込むようなやわらかい湯は、術後の傷やケガ、アトピーなどに効力を発揮するというのが実感できる。
 外傷ばかりでなく、リュウマチ、腰痛、打撲、骨折、婦人病、神経痛、病後回復、胃腸炎、糖尿病など、効能は多い。

周辺散策

●神々の道

早戸地区の集落から山に向かっていく本かの道があり、観音菩薩、地藏菩薩や各種石祠など26の神々が祀られている。この神々の道は、毎年地区全体で草刈などをして整備している。

●沼沢湖

早戸温泉からほど近い神秘の湖は、対岸の金山町にある。これからはハイキングが楽しめる。夏には「湖水祭り」が行われ、湖水浴も楽しめる。



第6回作品 撮影者：高田依代 撮影地：伊南村



第1回作品 撮影者：石田太郎 撮影地：昭和村

奥会津 とっておきの 風景

フォトコンテスト入賞作品より

★詳しい撮影場所は協議会のHPへ

からむしの畑焼き(昭和村)

五月の小満の日を期して、この日の夕刻、昭和村のからむし畑から炎が上がる。出始めた芽を一旦焼いて、土の殺菌、施肥、芽そろえを行うためだ。

この作業は昭和村の技術を支えるものとして、六百年前から続けられてきた伝統的な栽培技法。小満ともなれば、遅霜も降りなくなる時期で、この日は昭和村にとっては特別な日。からむしの畑焼きは、この時期の風物詩ともなっている。

撮影：平田 春男

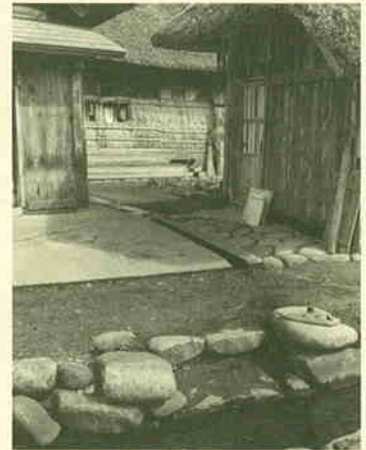


OKUAIZU ふるさと 写真館

写真・文：竹島 善一



▲厩では春。しかし木々の芽は固く風は冷たい。厳しい寒気と雪に耐えた我が家を慈しみを持って見やる。冬をしのぎ切った安堵を支えるのは何といっても土である。黒々と水を含んだ土に、農の期待が寄せられる。(南郷村鶴巣・昭和57年4月)



▲小さな流れには子どもがいた気配。石組の水場は今ではU字溝になったが、昔と変わらず水が流れている。(南郷村大新田・昭和56年4月)

TOPICS

ユビソヤナギの群落発見!

只見町の伊南川沿いの河川敷で、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されたユビソヤナギの国内最大の自生地が見つかりました。自生地は伊南川や支流の黒谷川、館岩川沿い五十キロ以上に及んでおり、この発見によって国内最大の自生地となります。

これまで群馬と宮城、岩手の三県で四か所が確認されていますが、分布が途切れているのが不思議だとされていました。只見町での発見で空白域が埋まったこととなります。今後は、河川改修などで生態域が破壊されることのないよう、保全に努める必要も切望されています。



ユビソヤナギ…群馬県水上町の湯楢川で、1972年に発見された高木のヤナギで、川の名から和名が付けられた。雄花の花糸が、普通は2本なのに合着して1本になっているのが特徴で、開花時期でないときが困難。環境省のレッドデータブックが1B類(近い将来に絶滅の危険性が高い)に指定されている。



第3回作品 撮影者：高橋 忠 撮影地：櫛枝岐村



第5回作品 撮影者：吉田止水代 撮影地：南郷村



第6回作品 撮影者：山倉栄子 撮影地：館岩村

思い出の一品



「コゴミの炒め煮」



作り方
干したコゴミを戻して水を切り、少々のお油で炒め、みりん、出汁、醤油でしばらく煮込む。

雪が消えて真っ先に出る山菜がコゴミ。この春の使者を食卓に載せることが嬉しい。
おひたしや和え物、天ぷら、酢の物と、バリエーションも豊かだ。青い野菜を待ち焦がれる季節に、コゴミの登場は蘇りたいのちを謳歌する場でもある。

この一品は、一度茹でたコゴミを干して保存しておいたものをもどして、炒め煮にしたもの。生のコゴミとは異なる味わいと歯ざわりが郷愁を誘い、ぜんまいの油炒めよりも好むという人もいる。

思い出を一言



中丸 昌子さん (金山町)

稲穂が垂れてこごむようになって、田植えの時には今でも、干したコゴミの油炒めなんかを作って食べることにしてんのや。昔から、山菜はいろいろに形で保存して、一年中食べられるようにしてきたのや。

博物館・美術館めぐり



妖精美術館 (金山町)

森に囲まれた神秘の湖・沼沢湖のほとりに、世界中の妖精が集まっています。
「妖精美術館」には、妖精を描いた絵画、絵本、文学の資料、人形、妖精をとり入れた小道具などがたくさんそろって、幻想的な世界へと誘います。
日本でただ一つの妖精の館。静かな館内で妖精たちと過ごしてください。

- 開館時間：9時～16時30分
 - 休館日：毎週水曜日
 - 入館料：大人300円 高校生200円 小中学生100円 (0241) 553180
 - TEL：(0241) 553180
- ※冬期間(11月中旬～翌年4月下旬)は閉館

いづんど告知板

奥会津の3町村でウォーキング事業を開催します。当日参加もできますので、奥会津の新緑の中を歩いてみませんか！

第4回 会津高原しらかば ツーデーウォーク参加者募集!!

- 〔日時〕 平成16年5月15日(土)・16日(日)
〔集合場所〕 南会津郡館石村 たかつえスキー場
〔15日〕 ○たかつえ田園コース 5km
○スキー場・チロリアンビレッジ 10km
○新緑とコブシ咲く旧中山コース 20km
(このコースはアップダウン有り)
〔16日〕 ○チロリアンビレッジ、民宿街コース 5km
○たかつえCCC周遊、白樺牧場コース 10km
○高台からの眺望と田園風景コース 20km
- 〔参加料〕 1日参加・2日参加共1,000円
小・中・高校生500円
〔申込先〕 会津高原しらかば ツーデーウォーク実行委員会
TEL 0241-782546
FAX 0241-783050

第4回 歴史と文化のやないづウォーク参加者募集!!

- 〔日時〕 平成16年5月23日(日) 8時30分受付
〔集合場所〕 河沼郡柳津町 柳津運動公園
〔コース〕 門前(圓蔵寺)コース 7km
只見川周辺コース 10km
〔参加料〕 無料
〔申込先〕 歴史と文化のやないづウォーク事務局
TEL 0241-422114
FAX 0241-423419

第3回 尾瀬街道「妖精の里かねやま」 ツーデーウォーク参加者募集!!

- 〔日時〕 平成16年5月29日(土)・30日(日)
〔集合場所〕 大沼郡金山町
・29日あすなろ館・30日大塩運動場
太郎布高原周遊コース
5km, 10km, 20km

- 〔30日〕
〔参加料〕 只見川展望コース 5km, 10km, 20km
1日参加・2日参加共1,000円
高校生以下は無料
尾瀬街道「妖精の里かねやま」
ツデーウォーク実行委員会
TEL 0241-545222
FAX 0241-542117

第9回 歳時記の郷 奥会津俳句大賞作品募集!!

9回目を迎えた俳句大会。今年も皆さんからの作品を募集しています。作品は2句で1組とし、何組応募してもかまいません。日本人の心の原風景をテーマに詠んだものを募集しています。投句用紙がありますので、ご希望の方はお問合せ下さい。たくさんのご応募お待ちしております。

〔締切り〕 平成16年5月31日(月)
当日消印有効
〔選考者〕 茨木和生(運河) 主宰
黒田杏子(藍生) 主宰
榎本好宏(読売) 地方版俳壇選考者
伊藤松風(福島県俳句作家懇話会会長) 入賞
〔入賞〕 ○歳時記の郷・奥会津俳句大賞(副賞20万円他)
○同進賞(副賞10万円) 他多数
〔問い合わせ先〕 奥会津書房内「歳時記の郷俳句大賞」係
TEL 0241-523580

フォトコンテストの作品を 展示しています!

第8回歳時記の郷・奥会津フォトコンテストで入選された作品を、奥会津で展示しています。
5月15日(土)から6月11日(日)、昭和村の「織り姫交流館」で展示しています。昔懐かしい風景や、一瞬の美しさを捉えた作品など80点余りが展示されています。お出かけの際には是非お立ち寄り下さい。

聞き耳袋

雪水通すと丈夫になる
雪の上さ出来上がった蓑ひろげて、その上サ雪載せておく。雪水通すと編んだもんにはゆるみが出て弾力が生まれる。軽くなるし、丈夫になんぞぞ。
(飯塚網雄さん・三島町)